

Golden Age Project PRE-73 mk2



取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

Golden Age Project / PRE-73 MK2

PRE-73 MK2 は 1ch ビンテージスタイルのマイク/ライン/楽器用のプリアンプです。お求めやすい価格設定ながら、信号パスはオールディスクリット構成、ラインとマイクロホン入力そしてライン出力の全てに合計 3 つのトランスフォーマーを採用したバランス回路、すべてが贅沢なビンテージ機器と同等に組み上げられています。

近年のマイクアンプデザインの主流であるインテグレートデザインは、小さく安く便利で多く生産されていますが、そのサウンドは皆が求める美しいサウンドではありません。特にクリーンなデジタルレコーディングにおいてはその傾向が顕著で、多くのミュージシャンやエンジニアは古き良きアナログ時代の、リッチでシルキーで雄大なビンテージサウンドを求めてやみません。

PRE-73 MK2 はクラシック & ビンテージ NEVE 1073 モジュールのプリアンプと同等の回路設計となっており、たいへんに音楽的で、温かいパンチ感とスイートな質感のサウンドキャラクターを持っています。このクラシックなサウンドキャラクターは私たちが数多くの素晴らしいレコーディングで耳にしてきたサウンドそのものであり、どんなサウンドソースやジャンルにも普遍的な安心感のあるアナログサウンドを提供します。

GAP(Golden Age Project)ではこの憧れのサウンドを、驚くべき価格で全ての人に提供します。

FEATURES

- ビンテージスタイル回路設計。オールディスクリット回路構成(NO Integrated Circuit)
- Max ゲイン 80dB(パッシブリボンマイクなどの低ゲインマイクにも対応)
- ライン入力 ゲインレンジ -20dB ~ +10dB
- マイク入力インピーダンス切替 (1200 or 300 オーム) によるトーンバリエーション
- 48V フェントムパワー
- 位相反転スイッチ
- ハイインピーダンス楽器入力装備 (フロントパネル)
- 4 ステップの見やすい LED レベルメーター
- アウトプット・レベルコントロール (入力ゲインとのコンビネーションでサウンドカラー

を自在に操ります)

-XLR/TRS コンボ入力ジャック

-別売の EQ-73 などをインサートできるインサートジャック搭載

-選択可能な 600 オームアウトプット・ターミネーション

-24V AC アダプター (付属)、またはハイエンド外部パワーサプライ (PS-AC4) も使用可能

-ソリッドで頑強なシャーシデザイン

CIRCUIT DESCRIPTION

信号はまず最初にトランスフォーマーに入力されます。マイク専用とライン専用を贅沢に用意しています。サウンドを吟味した素晴らしいオーディオトランスを採用しています。マイク入力のトランスは 2 ワインディング仕様でシリーズまたはパラレルで使用することで 1200 オームまたは 300 オームのインピーダンスで使用できます。

トランスフォーマーは 2 つの入力ゲインステージを持っています。50dB までのゲインにはそのうちの 1 つを使用し、50dB 以上にはシグナルパスにインサートされた 2 つめのゲインステージを使用しています。両方のゲインステージにはそれぞれトランジスタを 3 つしか使用していません。

ゲインステージの後には、信号は出力ステージのアウトプットボリュームに送られます。このステージにもトランジスタは 3 個しか使用せず、最後にクラス A で動作させた、ずっしりとした 2N3055 パワートランジスタが採用され、出力トランスをドライブさせています。

MODERN VS OLD

近年では低歪みで優れた IC がたくさんあります。しかしながら、PRE-73 MK2 にはそんな近代的な IC は全く使用されていません！PRE-73 MK2 のトランスフォーマーによる倍音（歪）は、全く歪みのない IC に比較するとある意味高性能とは呼べません。しかしながらその音楽的な美しい倍音成分、どんな楽器や声も”Better”に響かせてしまう魔法のサウンド、その耳に心地よいサウンドこそが、現代でもビンテージサウンドが好んで使用される秘密であり、音楽を録音する場合にはなくてはならないサウンドとなっているのです。

USING PRE-73 MK2

PRE-73 MK2 を使用してマックスのパフォーマンスを引き出すポイントを上げてみます。

- AC24V の AC アダプター、または別売の外付け PSU ユニットから電源を供給します
- フロントパネルの電源スイッチをオンにします
- XLR/TRS のコンボジャックに XLR またはフォンジャックを接続してライン、またはマイクのサウンドを入力します。マイクとラインソースは同時に接続することも可能で
- MIC/LINE のゲイン位置はゲインスイッチに表記されています。
- もし倍音を抑え、カラー少なくマイクの音を増幅したいときには、アウトプットのボリュームを最大位置付近で設定し、Mic/Line のゲインスイッチで全体のレベルを調整してください。
- もし倍音を多めに全体のキャラクターと色付けを強めに調整したい場合には、Mic/Line のゲインスイッチを高めに、アウトプットのボリュームを絞り気味に設定してください。より強く入力ステージでドライブした、倍音がリッチなビンテージサウンドになります
- さらに強い色付けとキャラクターを実現するには、アウトプットのボリュームも同時に高く設定します。倍音と歪み感がさらに増し、力強い、ファットなアナログサウンドになります。同時に滑らかでスムーズな NEVE サウンドです。PRE-73 MK2 の後に接続される機器に対してゲインが大きすぎる場合には、例えば SHURE A15AS (XLR タイプの切替式 PAD コネクター)などを利用してゲインを下げてあげると良いでしょう。
- GAP の PRE-73MK2 は基準レベルが+4dB で設計されていますので、もし-10dB レベルの機器に接続するときにも SHURE A15AS のような簡単な PAD コネクターがあると便利です。また出力レベルが 600 オームのロードで 1.23V の時に VU メーターの 0 位置が点灯します。
- 楽器を入力する場合にはフロントパネルに 100k オームのハイインピーダンス楽器入力 (TRS フォン) が用意されています。この入力を有効にするには DI スwitch をオンにします。DI 入力はゲインスイッチのマイクポジションでゲイン調整します。リアパネルのマイクとライン入力も同時に接続された状態になります。
- コンデンサーマイクを使用する場合には 48V ファントム電源のスイッチをオンにしてください。機器を守るためにマイクの取り外しは 48V スwitch を操作してから 10 秒以上経ってから行ってください。
- LOW-Z スwitch をオンにすると、マイクの入力インピーダンスを通常の 1200 オームから、300 オームに変更します。この事でマイクのトーンとサウンドシェイプを変えることができるので、よりバリエーションの多いサウンドメイクを可能にします。また通常ですと全体のレベルも大きくなります。

- PHASE スイッチはサウンドの位相を反転させます。マルチマイクの録音時にたいへん有効です。たとえばスネアドラムの上下に 2 本のマイクを使用するときなどに片側の位相を反転させます。
- リアパネルにはアンバランスのインサートジャックを用意しました。マイクプリに他の EQ やエフェクターをインサートすることができます。通常はこの端子には GAP の EQ-73 をインサートします。オペレーティングレベルは-18dBu で、センド=Tip、リターン=Ring となっています。
- 出力トランスフォーマーは 600 オームロードでも使用することができます。入力インピーダンスは 10k オーム以上です。PRE-73 MK2 を 600 オームでターミネーションしたい場合には XLR 出力ジャックのちょうど裏側（内部）にある JP1 ジャンパーを外します。低いインピーダンスをもったビンテージ機器と本機を組み合わせたい場合などにお試してください（詳細は弊社技術までお問い合わせください）。

PRE-73 MK2 の電源が入らなくなった場合には、まずヒューズをご確認ください。1.5A ファストブロータイプのヒューズが標準使用されています。

Create Music

-Be Happy!